

# 振興会だより

令和6年11月28日発行  
編集・発行 振興会  
羽田地区センター

## 第38回羽田躍進祭り開催

### 秋晴れの下、来場者数三百人強

11月3日(日)、羽田地区振興会は3つの団体と共催し、また4つの団体の後援を得て、第38回羽田地区躍進祭りを開催しました。

前日の雨天とはうって変わって、晴天に恵まれ、お子さんから高齢者の皆さんまで、地区センター



「に足をお運びいただき、来場者数は、実に三百人強を数えました。」  
今年度は、餅まき、作品展を復活し、コロナ禍以前に規模を戻したことで、

「が功を奏して、来場者数の増加につながることができました。」  
現在、躍進祭りは、羽田地区最大のイベントと言って過言ではない状況下、成功裡に終了することができ

ましたことと、地区民の多くのお礼と感謝を申し上げます。  
また、



躍進祭り開催に当たり、各方面で運営に携わった多くの皆さんに、この紙面を借りて衷心より感謝申し上げます。  
次年度への課題としては、開催の周知の仕方を工夫すること、作品展の出品数、ウォーキングの参加者数をどう増やすか等があげられます。

## お米パーティー開催

### —羽田小学校—

11月12日(火)、羽田小学校において、お米パーティーが開催されました。  
これは、小学校の総合的な学習の時間として実施された稲作体験学習を、振興会農林保健部会(菊池富明部会長)が支援し、収穫したお米を食する催しです。  
児童の皆さんは、パソコンを駆使し、パワーポイント

トで、コメに関する発表を行いました。  
学習田を貸した佐藤千治さん、農林保健部会から4名、振興会の役員2名、計7名が招待されました。



## 羽田地区行政長OB会創立20周年記念式典挙行

羽田地区行政長OB会(小野寺東洋会長)は、10月23日(水)、金ヶ崎町の永岡温泉夢の湯で、創立20周年記念式典を挙行し、OB会の皆様16名と、来賓の佐藤和幸行政長協議会会長代理、佐藤庄治郎地区センター長の2名、計18名が出席しました。  
厳粛な中にも和やかな式典が滞りなく終了後、懇親会があり、あつという間に4時間30分が過ぎました。  
16名のOB会の皆様を拝顔し、このお歴々の方々によって、羽田地区の秩序の維持と地区民の安寧が図られてきたとの思いを強くし、感慨入ならぬものを覚えました。創立20周年、誠に

におめでとうございます。  
なお、『20年のあゆみ』を発売しております。1部は、センターにあります。



### 岩手県・奥州市 公衆衛生組合連合会表彰

11月6日(木)、盛岡市で、小野寺茂美芦ヶ沢行政区長が、永年の公衆衛生活動の功績が顕著と認められ、個人として、岩手県公衆衛生組合連合会長表彰を受けました。なお、小野寺茂美区長は、現羽田地区振興会副会長の重職も務めております。



また、11月21日(木)、奥州市で、佐藤静進東町行政区長が、公衆衛生向上の活動が優秀と認められ、功労者として奥州市長

### 避難所運営班打合せ

10月29日(火)、Zアリーナにおいて、今年度の避難所運営班打合せが15時から行われました。市役所から4名、Zアリーナから2名、地区センターからセンター長と事務長の2名、計8名が集まりました。

打合せの主な内容、左のとおり

- 1 主な役割分担の確認
- 2 防災資材の保管場所の確認
- 3 備品等の確認(食料、毛布等)
- 4 防災行政無線の使用方法

感謝状贈呈を受けております。さらに、菅原政幸鶴ノ木行政区長が、地区衛生組織活動の育成指導の功績が認められ、功労者として岩手県公衆衛生組合連合会胆江支部長表彰を受けました。なお、佐藤静進区長は、表彰式の席上で、代表して謝辞を述べられております。

お三方に、心から祝意を表する次第です。



- 5 施設全般の確認
- 6 機械警備の確認

8月の台風5号による「警戒レベル3」高齢者等避難発令を受けて、Zアリーナに避難所が開設された際の経験がものを言って、再確認の意味合いが強い打合せとなりました。

なお、例年であれば、6月、遅くても7月に実施されている打合せが10月末にずれ込んだ理由が、行政側にあることに鑑み、センター長としてどう行政と向き合うか?熟考せざるを得ない契機となりました。

## 「人生百年時代」を生きる!

### 四苦の仏教的意味は?

「四苦八苦」という言葉があります。国語辞典によれば、「非常に苦しむこと」とあります。本来、仏教用語です。このうち、「四苦」とは、「生(しょう)・老・病・死」をいいます。人として生きるうえで、避けることのできない四つの「苦」です。仏陀は、人生の苦しみについて、深く思索をめぐらしました。そして、「四苦」と、それからの解脱の道を解き明かしました。仏教という宗教の根本は、ここにあるのです。

### 基本は足腰を鍛える!

高校生に勉強の話をする時、「基礎基本をしっかりと」と言いました。また、別な言い方として「足腰を鍛えなさい」とよく言ったものです。そうです。漢字の「腰」は、月十要です。月は体を意味します。腰は体の要ということになります。

また、動物は足を使って動いています。動物にとつて、足は無くてもならぬものです。人が動けるカギも、足にあるということになります。

人生百年時代の基礎基本は、足腰にあるということになります。

### 読書は心のオアシス!

最近、本を読まない人が増えつつあると聞きます。これは、非常に残念なことです。フランスの哲学者、物理学者のパスカルは、「人間は考える葦である」という有名な言葉を残しました。そうです。人間は、他の動物とは違って、考えることのできる唯一の動物なのです。

この「考える」ということで、最も大切なことは、紙に印刷された文字を読むということです。書物を読んで、頭の中で考える。そこに、心の潤いが自ずから湧き出るのです。

### ネット社会を生きる?

現在、インターネットで社会が、また、世界はつながっています。本を購入するにも、新幹線のチケットを予約するにも、ネットで済ませる時代になっています。本屋が街から消えつつあります。水沢江刺駅の「みどりの窓口」は閉められています。

これが、現実であります。

でも、やはり社会は、人と人との交わりが基本です。友達と話をすると、人となりの人と挨拶をする。人とのつながりを大切に生きたいものです。